

2018年5月 外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
神経内科	午前				済生会熊本病院医師 (2、4週)	
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (2、4週)				
消化器内科	午前		藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	予約 午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前	済生会熊本病院医師 (1、3週)		済生会熊本病院医師		
腎臓病外来	午前				町田 健治	
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	予約 午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午前		荒川 和也			
	午後					荒川 和也
禁煙外来	予約 午後					藤岡 正導
動脈硬化外来	予約 午後		藤岡 正導			
脳ドック	予約 午後			藤岡 正導		

- 受付時間 / 午前8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内 / TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。

休診の
お知らせ

- 5月11日(金) / 消化器科(藤本医師)
- 5月18日(金) / 脳神経外科(藤岡医師)
ペインクリニック(荒川医師)
- 5月24日(木) / 整形外科(西口医師)

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1
TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら
<http://sk-misumi.jp>



発行 / 平成30年5月 社会福祉法人済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



47 Take Free.
2018.05



新入職員
三角(さんかく)ポーズ

病気のはなし「痛みの治療について」

リハビリテーションだより「作業療法士とは？」

部署紹介 [ニチイ学館] / みすみ病院のできごと / 救急外来受診の流れ
外来医師一覧

[特集] 初のメディカルラリー参戦!



社会福祉法人
恩賜財団

済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌 / 発行者 庄野 弘幸



病気のほなし



痛み(ペイン)の治療について 麻酔科/荒川 和也

昨年10月よりペインクリニック外来を開始しております。麻酔科の荒川和也と申します。出身は三角西港です。麻酔が専門で、これまで救急、離島・へき地医療にも携わってきました。今回、季刊誌に執筆する機会を頂きましたので、痛み(ペイン)の治療について書いてみたいと思います。

○ 痛みをどう考えるか

痛みは嫌なものです。痛みをプラスに考えることはなかなかできないでしょう。強いて言えば、トレーニング後の筋肉痛くらいでしょうか?といっても、それは原因がはっきりしており、一過性のものだとみんなが分かっています。且つ筋肉の張りのような感覚の延長であるからでしょう。スポーツをしたことのある人なら、誰もが通る通過点のようなもので、且つ筋力アップへの目安になるものだからです。

それでは逆に、これまで感じたことのない痛みで、原因が分からず、いつ治るかも分からないような痛みであれば、人は不快に思い、また不安になることでしょう。この痛みはいつになれば治るのだろうか。そして、原因もわからず治療もできなければ、生活の質は下がり、場合によっては寝たきりや、うつ状態になってしまうかもしれません。

○ 痛みの原因

このことからご察し頂けるとおり、痛みは単純に病気や怪我から来るだけでなく、心の要素も含まれます。原因が分かっていると、痛みが改善傾向な場合や、薬で軽減できる場合は、たとえ痛くてもある程度は受け入れることができるのです。そして、そのような状態の患者さんは、適切な薬を使用したり、リハビリテーションを行ったりしながら、痛みと上手に付き合っていくことになります。

しかし、原因が分かっても、我慢できないような痛みもあります。もちろん、鎮痛剤などは処方されているのですが効果が不十分といったケースです。同様に、合併症の関係で神経ブロック療法が受けられないケースや、鎮痛剤が処方できないケースもあります。そういった患者さんも、痛みの治療が不十分で我慢できないまま日常生活を過ごし、生活の質が下がっていることがあります。ペインクリニック外来は、決して万能ではありませんが、こういった様々なケースを考慮し、一般の外来よりも専門性の高いところで、診断の再考、内服調整・変更、合併症の少ない神経ブロック療法などを行い、より痛みの少ない生活を目指すお手伝いをする外来です。



痛みは生活習慣病?

私が以前、慢性の頭痛で紹介いただいた患者さんのことについて、個人情報に関わらない程度にお話をします。その方は2年ほど前から右後頭部を中心とする頭痛で、いくつかの病院で診察を受けていました。まずは近所のクリニックで鎮痛薬を処方され、治らないので脳外科紹介されてCTスキャンをして特に異常なし。別のタイプの頭痛薬(片頭痛の薬)を処方されたが、あまり効果がない(むしろ効きが悪い)。そこで別のクリニックを受診したところ、緊張性頭痛(首の筋緊張が主な原因の頭痛)の診断を受け、内服と首回りのリハビリをやってみたところ症状軽減あり。リハビリ目的で紹介通院されていました。リハビリ科の先生が主治医だったのですが、なかなか改善に乏しく、私のペイン外来に紹介されたのです。

診察してみると、頸部に特徴的な筋緊張と圧痛点がありました。局所麻酔薬の注射をしたところ大変効果があって喜んでいただきました。また、首のレントゲンを撮りましたが、年齢相応の変化程度で大きな問題はありませんでした。ところが、効果はあるもののすぐに再燃してくるのです。頸椎に変形などがある方ならわかるのですが、それに頸部そのものに問題がある方は、朝起きた時

症状の強いことが多いのですが、その方は夕方がピークなのです。そこで詳しく話を聞いてみると、昼間は家族が出払っていて、一人でゴロゴロしながらテレビを見るのが楽しみだ、ということがわかりました。その時の姿勢を聞いてみると、右後頭部～頸部がギュッと詰まるような姿勢でした。そのため、ちゃんと姿勢を直して座ってテレビを見てみて下さい、と伝えました。ご本人さんは半信半疑(ずーっと昔からそうしているのにとか、そのくらいのことで…とおっしゃってました)でしたが、結果はご想像の通り、再燃無く完治しました。

痛みの原因は、多くは病気・ケガに伴うものや、その後遺症ですが、このように日常生活の中に痛みの原因があって、そのために治療が困難になっているケースもあります。また原因は病気やケガでも、その痛みの治療を邪魔するものが、生活習慣の中にかくれているケースもあります。このような場合は、当然我々医療者も気にはかけてお話ししますが、本人の自覚に乏しい場合はなかなかわからないこともあるのが現状です。自分で考え、治そうと努力することは当然ながら一番大事なことです。そんなことを改めて感じさせてくれた患者さんの話でした。

○ 当院での主な対象疾患

帯状疱疹後神経痛・三叉神経痛・術後痛などの慢性痛 / 頭痛・肩こり・頸肩腕症候群など、首～肩に由来する痛み・症状 / 肋間神経痛・腰痛・坐骨神経痛など、体幹や脊椎関連の痛み・症状(膝や肩などの関節の痛みや脊椎関連の疾患については、まずは整形外科外来で診て頂きます。神経ブロックや薬物療法などについて、ペインクリニック外来で改めて対応する形になります)

その他、顔面神経麻痺・突発性難聴などの診断がついており、星状神経節ブロックなどペインクリニック外来での処置が必要である方も対応いたします。

※他にも、痛みに関する診断・治療には、外来時間中に随時対応しておりますが、急な痛みについては原因を調べるのが優先です。そして原疾患の治療が最優先になります。ですので、原因不明の急な痛みについては一般外来が窓口になります。

※残念ながら、当院はペインクリニックの認定施設ではありません。より高度な治療や専門の知識・経験が必要な状態と判断した場合には、熊本市内の専門施設(大学病院など)を紹介する場合がございます。

○ 治療方法

1. 神経ブロック療法

局所麻酔薬や抗炎症作用のある薬物を痛みに関わる部位に局注する治療法です。神経ブロック療法は以前から行われていますが、近年、超音波診断装置(エコー)を用いて注射する方法が普及し、精度と安全性が高まっており、当院でも採用しております。

これにより、病気・内服のために血が固まりにくく神経ブロック療法が施行し辛かった患者さんにも、比較的安全にブロック注射を施行できるようになりました。

もちろん、出来ない場合もございます。随時説明いたしますので、ご相談ください。

2. 薬物療法

痛みに関する薬物は、近年新しいものもどんどん出ており、その処方については、専門的知識が必要です。また、鎮痛薬でなくところに作用する薬(抗うつ薬など)が鎮痛薬とともに作用することで、痛みが軽減するケースも多々あります。ペインクリニック外来では、そういった内服調整も大事な仕事です。御来院の際には、今飲んでる薬が分かるよう、おくり手帳などを必ず持ってきてください。

3. リハビリテーションなど

筋・骨格系の痛みについては、ペインクリニック外来で痛みの治療を行うとともに、リハビリテーションが奏功すると思われる患者さんは、リハビリテーションを行っていただきます。

○ 最後に


私はペインクリニック外来を担当しておりますが、専門は、手術麻酔です。そして現在は、救急外来の担当をする機会が多いので、地域の皆さんとは、そのような場でお会いすることが多いかもしれません。

痛みの治療をしていますので、手術に際した痛みについてもこだわりをもって管理・処置をしています。前述の超音波ガイド下神経ブロックは、手術の際にも頻繁に活用しており、術後の患者さんの痛みをできるだけ軽減するよう努力しています。手術に痛みは付きものですが、昔のように「痛くて当たり前」なんて野蛮なことは申しません。もちろん多少は伴うものですが、なるべく少なく済むよう配慮しております。当院で手術を受けられる方は、手術に際した痛みについても、御心配なごあればどうぞご相談ください。



リハビリテーションだより 作業療法士とは？

当院には46名(H30.4.1時点)のリハビリスタッフが在籍しています。今回はその中の「作業療法士」という職業についてご紹介します。



作業療法士とは？

あなたが今、したいと思うことを思い浮かべてください。もしあなたが病気やけがなどで障害になったら…。あなたの日常生活が不自由になったら…。うまくできて、うれしかったり。うまくできなくて、がっかりしたり。食べること、寝ること、楽しむこと、何気ない動作の一つ一つでも、こことからだの複雑な動きがあります。



作業療法士は、障害のある人が、その人その人の状態を折り合いをつけながら、生き生きとした生活を送れるよう、仕事、遊びなど日常生活のなかでの活動(作業)をとおして、こことからだを元気にするリハビリテーションの専門家です。「その人らしく」「その人のからだここらの状態」「その人の周りの環境」を考えながら…その人が笑顔になれるように、「今」と「これからの」豊かな生活づくりをお手伝いする職業です。

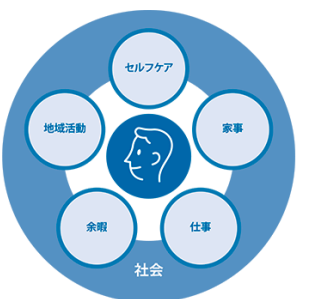
作業療法ってなに？

作業って？

だれでも、「作業」している

食べたり、入浴したり、人の日常生活に関わるすべての諸活動を「作業」と呼んでいます。

- セルフケア(着替え、トイレなど日常的生活行為のこと)
- 家事
- 仕事
- 余暇
- 地域活動



作業療法の対象

「作業」で、社会とつながる

病気やけが、もしくは、生まれながらに障害がある人など、年齢に関係なく、日常の生活に支援が必要なすべての人が、社会とのつながりを「作業」と通じて作ります。

- | | |
|--------------|--|
| こことからだを | <ul style="list-style-type: none"> ● ところ：統合失調症、気分(感情)障害… ● からだ：脳血管障害、脊髄損傷、高次脳機能障害、パーキンソン病… |
| 人生のあらゆるステージで | <ul style="list-style-type: none"> ● 発達期：脳性麻痺、注意欠陥・多動性障害、ダウン症候群… ● 高齢期：認知症、骨・関節障害、脳血管障害、廃用症候群… |

作業療法の目標

3つの能力を維持・改善

作業療法では、基本的な運動能力から社会の中に適応する能力まで、3つの能力を維持、改善し、「その人らしい」生活の獲得を目標にします。

- 基本的動作能力：運動や感覚・知覚、心肺や精神・認知などの心身機能
- 応用的動作能力：食事やトイレ、家事など、日常で必要となる活動
- 社会的適応能力：地域活動への参加、就労・就学



急性期の作業療法

病気やけがの初期段階で

病気やけがの直後から、リハビリテーションを開始します。将来の生活を見越し、その時の症状にあわせて、こことからだの基本的な機能の改善を援助するとともに、新たな機能の低下を予防します。

その人が必要とする生活行為の獲得を目指して

- 自分で食べられるようになる練習
- 自分で住まいの中を移動できる練習
- 自分でトイレを使えるようになる練習

回復期の作業療法

生活の方法の習得に向けて

急性期の作業療法を経て、病気やけがの状態が安定し、より具体的な生活をイメージして機能や能力の改善を図ります。生活していくために必要な能力の開発や手段の獲得を通じて、人それぞれに応じた生活の方法を習得します。

生活するために必要な能力を目指して

- 服や靴の着脱をする練習
- 調理や掃除などの家事の練習
- 買い物など外に出る練習



生活期の作業療法

豊かに生きるために

住み慣れた場所でその人なりの生活を送る支援をします。社会の中で、それぞれが生きがいをもち、豊かに生きるための、生活の実現を図ります。

社会の中で豊かに生きるための生活の実現を目指して

- 散歩など、外に出る練習
- 地域コミュニティへの参加の援助
- 実際の仕事場に近い環境での就労支援
- 自助具を使用して趣味やレジャーを楽しむ支援
- その人にあった、より生活しやすい環境づくり

活動場所

社会の、あらゆる場所で

医療や福祉・介護の現場はもちろん、保健・教育・職業領域など、社会活動の現場でも作業療法士は活躍しています。



- | | |
|------|--------------------|
| 医療 | ● 病院/クリニック… |
| 福祉 | ● 障害者施設/児童福祉施設… |
| 介護 | ● 老人保健施設/デイケア… |
| 保健 | ● 保健所/地域包括支援センター… |
| 職業関連 | ● 就労支援事業施設/ハローワーク… |
| 教育 | ● 特別支援学校 |





初のメディカルラリー参戦!

なんと3位入賞!

1月27日に済生会熊本病院主催の第1回4Rメディカルラリーが開催されました。メディカルラリーとは、1997年にチェコ共和国で始まった救急医療の判断や技術を競うコンテストで、日本では2002年済生会千里病院で第1回が開催されています。熊本では初の試みです。

今回宇城広域連合消防本部より、ぜひ地元チームを結成して挑みたいとの要請を受け、当院から医師2名、看護師2名と救命士2名の計6名

で「チーム宇城」として参加しました。当院には経験者がいなかったため、経験のある救命士の方々による指導のもと、チーム活動の訓練を繰り返し行い、結果何と3位入賞しました!

このラリーを通して、地元救急隊との関係がより深いものになったこと、心肺蘇生法などの質がより向上したことなど、嬉しいことは盛り沢山ですが、この成果を院内・地域に還元できてこそ、本当に実のある結果であり、それこそがメディカルラリーの本質であると実感しました。

麻酔科/荒川和也 看護部/貝川玲子

部署紹介★

ニチイ学館



勉強会や情報交換を活発に行いスキルアップを目指します

ニチイ学館として、現在外来10名、入院4名の計14名で日々業務に取り組んでいます。業務内容は、外来業務(受付、算定、クラーク、予約業務)、入院業務(算定、クラーク業務)です。特に外来業務については、職員さんと力を合わせて頑張っています。今年は診療報酬改定の年ということもあり勉強会を開催し、情報収集をしました。近隣の地域に住む幅広い年代の女性が集まっているので、休憩時には地元の情報交換なども活発に行っています。総合受付や病棟で困ったことがございましたら、いつでもお声かけください。



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

新入職員歓迎会



2018年4月に看護師5名、理学療法士3名、作業療法士2名の計10名が入職し、歓迎の意を込めて4月12日に新入職員歓迎会を開催しました。

恒例のことではありますが、当院では新入職員へサプライズとして「家族からの手紙」をプレゼントしています。学生生活を終え、社会人1年目として出発した皆さんですが、ここまで来ることができたのはご家族の支えがあったからです。そこで、なかなか聞くことのできない思いをご家族へお願いして手紙に書いてもらい、所属部署の先輩方から読んでもらうことで、今後の励みにしてもらいたいという気持ちが込められています。

手紙からはご家族の思いだけでなく、職員の思いがけない一面を知ることできます。また、先輩職員にも初心を思い出させてくれ、ご家族から預かった皆さんが立派な社会人となるようお手伝いをしなければという意気込みが生まれます。参加した職員全員が和やかな気持ちになれる一日となりました。

救急外来

受診の流れ

夜間や休日など、通常の診察受付時間以外を含め、救急外来の基本的な受診の流れは右記のようになります。



連絡先 ☎0964-53-1656(受付)
※必ず事前に受診のお電話をお願いいたします。

1 受付

平日・休日 24時間体制
診察券、保険証、お薬手帳をご提示ください。
(紹介状をお持ちの方は一緒に提示してください)

2 診察・処置・検査

3 会計

夜間・休日の場合、預り金(10,000円)を頂いております。
保険証をお忘れの方、交通事故、仕事中的ケガの方は
20,000円をお預かりします。

4 お薬の処方



済生会みすみ病院 Facebookをやっています。

院内のイベントの様子やお知らせなどを掲載しています!「済生会みすみ病院」で検索してみてください。済生会みすみ病院のホームページからリンクがはってあります。ぜひ、いいね!をしてくださいね!

済生会みすみ病院

検索

